

# まち Topics

## トピックス

### 中山義秀文学賞を贈呈

2月19日、文化センター（中田）で、「第16回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会」が行われ、「孤闘 立花宗茂」の作家上田秀人さんに正賞と副賞が手渡されました。

贈呈式後には、上田さんが「戦国に翻弄された女たち」と題した講演を行い、参加者は上田さんの戦国時代の話に興味深く聞き入っていました。



### 春を告げる伝統行事

2月11日、恒例の白河だるま市が開かれ、会場の天神町・中町・本町は、約13万人の人でにぎわいました。通りには、約700軒の露店が並び、訪れた人々は、だるまを売る威勢の良い声に誘われ、福を買い求めていました。

また、マイタウン白河では、白河ラーメンの有名店4店舗が共同で作った「五匠麺」が提供され、長い列ができるほど大盛況でした。



▶鈴木さん（中央）と吉田さん（右）

### 威厳を放つ甲冑と華やかなつるし雛の共演

2月8日から13日まで、マイタウン白河で、白河甲冑塾と白河ひなの会による合同展、「絆美展」が開催されました。8日のオープニングセレモニーでは、甲冑を身に着けた出席者が氣勢を上げ、展示会の成功を祈りました。甲冑塾の会員が制作した作品や江戸時代に作られた本物の鏡兜、ひなの会の会員が作っただるまやちょうちんなどのつるし雛が飾られました。



▶新図書館内の様子



### 新図書館がついに完成！

2月10日、J R白河駅西側で建設が進められていた市立図書館が完成し、落成引渡式が行われました。新しい図書館は、地上2階建て（一部屋上階）、敷地面積2万2,923㎡、建築面積2,855㎡、延べ床面積3,850㎡の広さで、蔵書可能冊数は25万冊、閲覧席は250席あります。大きな屋根は、本を守るため直射日光を防ぐと同時に、優しい自然光を取り入れることができます。また、1階からは、小峰城の道場門遺構や木々の緑を眺めることができ、2階には北側の城郭ゾーンが望める閲覧席があるなど、歴史と自然に触れることができることも特徴の一つです。

この図書館は、国の認定を受けた市中心市街地活性化計画における核施設の一つであり、図書館の移転により、駅前ににぎわいの場ができることが期待されます。

新図書館は、4月30日に開館の予定です。

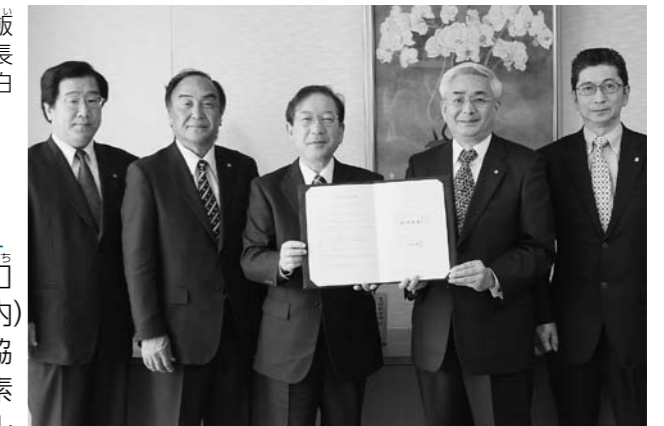
▶左から関根業務部長、飯沼専務取締役、鈴木市長、川口社長、植木取締役白河工場長

### 富士システムズHD株と工場立地の基本協定を締結

2月15日、富士システムズHD株（東京都、川口洋一社長）が「工業の森・新白河」C工区（菅根地内）に進出することを決定し、市役所にて工場立地基本協定締結式が行われました。鈴木市長は、「シリコン素材による医療機器の先駆的な開発を行い、カテーテルなどの医療機器に高い評価を得ている同社の本市への進出決定を心から歓迎します」と話していました。

同社は、1963年創業で、世界で初めてシリコン素材で医療機器（ファイコンブランド）の研究・開発・製造を開始し、現在では、医療用シリコン製品とともに血管内治療分野においても優れた操作性と患者負担軽減をテーマとした製品を製造しています。

県内では、西郷村の白河工場に次いで、C工区の工場が2つ目となります。雇用も操業開始時で120人、将来は250人を想定しており、本市の発展に大きく寄与するものです。



### 海外での農業研修を生かしたい

2月10日、農業経営者海外派遣研修事業でニュージーランドへ研修生として参加した鈴木一美さん（東栃本）と県国際農友会より派遣された吉田節子さん（大信隈戸）が、帰国報告に市役所を訪れました。ニュージーランドで、農業視察・ホームステイ・試験研究機関等での研修をしてきた2人は、「貴重な体験ができ、有意義な研修でした」と話していました。